



## 一般会計

平成29年度の一般会計の決算は、下グラフのとおりで、収入額が595億8,276万円、支出額が573億5,736万円となりました。

平成28年度と比較した伸び率は、歳入が3.6%減、歳出が3.8%減となっています。

歳入のうち、市税収入が273億6,266万円と全体の45.9%を占めており、平成28年度と比較すると4,346万円、0.2%増で、主なものは、固定資産税が7,525万円、0.6%増、法人市民税が7,337万円、3.2%減となっています。

歳出の主なものは、社会福祉・高齢者福祉・児童福祉などの経費である民生費が35.4%と最も多く、次いで、窓口サービスや防災などの経費である総務費が15.1%となっています。

# 平成29年度

市は、市民の皆さんに市財政の実態を知っていただくため、毎年2回財政状況を公表しています。本紙面では、平成29年度の財政状況についてお知らせします。

この公表により、市財政はどのように運営され、税金はどのように使われているのかなどをご理解いただき、より良い大垣市をつくるため、市民の皆さんにご協力をお願いするものです。

平成29年度は、平成25年度から推進してきた「大垣市第五次総合計画後期基本計画」の総仕上げの年度として、「地域活力創造」「安全・安心」「環境・エネルギー」「子育て日本一」「かがやきライフ」の5分野に積極的に取り組むとともに、定住促進、雇用の創出、広域観光など、地方創生事業に力を注ぎました。

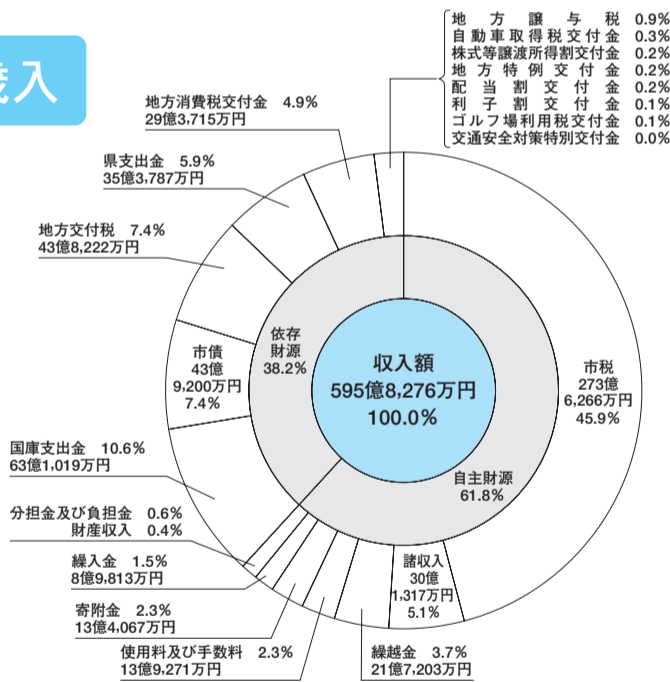
財政状況について詳しくは、市HPまたは財政課(☎47-8296)へ。

平成28年度決算額に比べ、三城幼稚園建設事業費(3億2,804万円増)、新庁舎建設事業費(1億8,856万円増)などが増加した一方で、日新幼稚園改築事業費(7億8,505万円減)、大垣駅南街区市街地再開発事業費(6億2,422万円減)、クリーンセンター焼却施設長寿命化事業費(4億1,006万円減)、キッズピアおおがき子育て支援センター整備事業費(2億6,693万円減)などが減少しました。

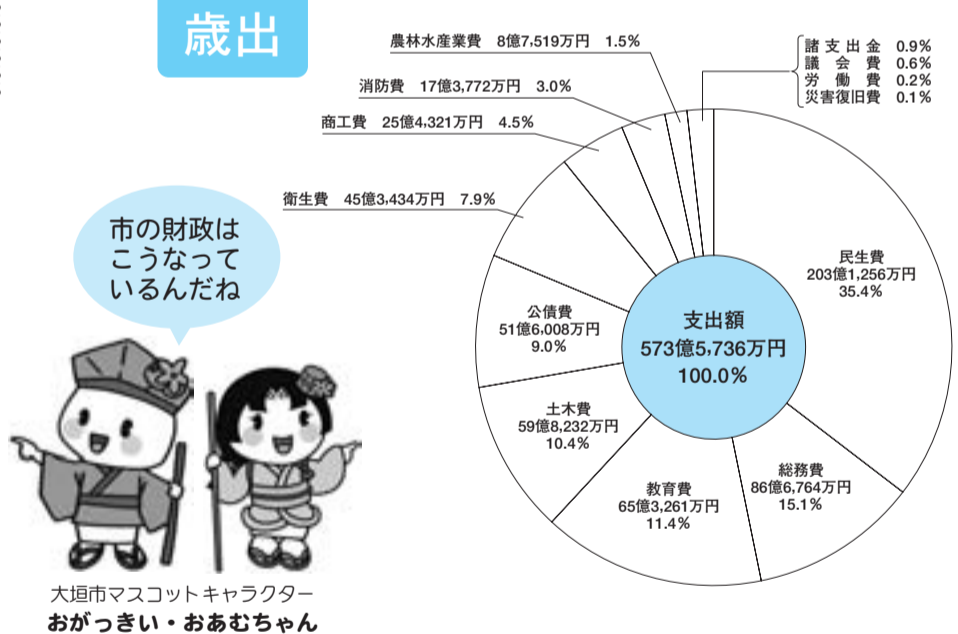


市役所新庁舎建設工事の様子

### 歳入



### 歳出



市の財政はこうなっているんだね



大垣市マスコットキャラクター おがっきい・おみちゃん

## 財政の健全性に関する比率

「地方公共団体の財政の健全性に関する法律」により、平成29年度決算に基づく「健全化判断比率(実質赤字比率など4指標)」と「資金不足比率」を公表します。

いずれの比率についても、①自主的な改善努力を図る財政健全化計画の策定が義務付けられる基準、②国などの関与による確実な再生を図る財政再生計画の策定が義務付けられる基準を下回っています。

なお、前年度と比べて実質公債費比率の変化はありませんが、将来負担比率は9.9ポイント改善しています。

区分	説明	大垣市	① 早期健全化基準	② 財政再生基準
健全化判断比率	実質赤字比率	赤字はありません	11.60%	20.0%
	連結実質赤字比率	赤字はありません	16.60%	30.0%
	実質公債費比率	0.9%	25.0%	35.0%
	将来負担比率	5.7%	350.0%	
資金不足比率	公営企業の資金不足を事業規模と比較して指標化し、経営状況の悪化の度合いを示します	資金不足はありません	20.0%	